

「木造での挑戦」

昭和3年創業の北野木材が ホールディングス化

木材の販売製造業として昭和3(1928)年に創業した北野木材株式会社(奈良市大安寺西・北野眞一郎代表取締役)は、建築事業や不動産事業など事業拡大を続け、11月にホールディングス化した。それに伴い、デザイン会社「and design株式会社」(同市八条・金井亮代表取締役)を新設。「これまでの木造のイメージを変えるような『木造での挑戦、をしていきたい』と意気込む北野、金井両社長に話を聞いた。

同社は北野社長の曾祖父が西大寺に創業し、平成18(2006)年に現在の場所に移転。木材とは関係のない商社で働いていた北野社長はその頃に帰ってきた。「その時で社員が10人程度。平均年齢が56、57歳ほどでした。当時27歳の僕を除くと、平均60歳以上になったかと思えます」と、北野社長は当時を振り返る。

以前の職場では、海外での仕事もあり、Eメールでのやりとりが当たり前。しかし、戻ってきた会社にはパソコンが1台し



and design株式会社

代表取締役 金井 亮氏

北野木材株式会社

代表取締役 北野 眞一郎氏

「これまでの木造のイメージを変える木造を」

がなく、主な連絡手段がFAXという状況を目のあたりにし、社内のシステムはもろろのこ、会社を変えていかなければいけないと心に決めた。

北野社長は商社に務めた経験から、右から左へ商品を流す問屋のままではいけないと考え、平成21(2009)年に住宅リフォームや店舗デザインを専門に扱う「株式会社ライフスケッチ」を設立。今でこそ理解を得て、工務店へサービスの提案、提供ができるようになったが、当初は「流通が何をしてるんだ」と言われたこともあったという。

その翌年に北野社長は、4代目として代表取締役に就任。時代の流れに沿った進化を続け、また木造の可能性をもっと引き出したいという思いを持ちながら成長を続けてきた。

今回のホールディングス化に当たっては、時代が変化していく中「今のままで、これからの100年に対応できるか」ということを考えた際に必要性を感じたという。

「ライフスケッチでやったみたいに、相手の土俵に入ってみて初めて見えるものもあります。機動力を高く、スクラップアンドビルドを早くするためにホールディングス化して、こうと考えました。人事、経理、総務を全部統合化して、企業としての立ち上げのスピードを速める。管理工数を下げて、

より収益性の高い、筋肉質な企業であることを念頭に作って、こうと思っています」と北野社長は話す。

また、ホールディングス化と同時にデザイン会社の「アンドデザイン株式会社」を新設。これについては「デザインの力で社会や暮らしを変えていく。『ただデザインが格好いい』ではなく、それぞれの企業さんに合わせたデザインの最適化を行い、意匠性だけではなく機能性を大事にして、費用対効果の高い付加価値を付けるようにしています」と同社代表の金井社長は話す。

また北野社長は「僕たちは汎用的なものの数を増やして提供するというよりは、デザインや個性的なものを、価値のあるものとして一つ一つ丁寧に作るということをしています。目指すのは木造での挑戦。この『木造で』というところが結構大きいところかなと思います。木材屋だから、木造だからこんな建築物になるだろうと持たれているイメージがあります。そこに對する一種のアンチテーゼといえますか、何か新しい投げかけみたいなものをやっていきたいというのがあるんです」と語る。

同社は今後、名古屋や東京への展開を計画。そういった中でも、「今後もオフィスはずっと奈良に構えたいと思っています。東京と名古屋に必要機能だけ

を外に出す。人は全部リモートで採用もできますので、本部はもう奈良でやっていきたい。そういった奈良から全国に勝負を打っていく会社になっていき

いと考えています。奈良を本拠地ということにこだわっていきたいですね」と、北野社長は、奈良の地にしっかりと根を張り、枝を伸ばし続ける。



同社がこれまでに手掛けた住宅デザイン

「デザインの力で社会や暮らしを変えていく」